

日本遺産を通じて 観光振興と 地域活性化を



日本遺産×観光×地域活性化 観光施策の可能性

少子高齢化や若者の定住意向の低下による人口減少が全国的に課題となっており、人口減少は地域経済にも直結する問題でもあります。

そこで、新たに観光等で訪れる方を増やし地域経済を活性化しようとする「交流人口」という言葉が着目されています。観光への取り組みはこうした人口減少問題に対するひとつの施策となります。

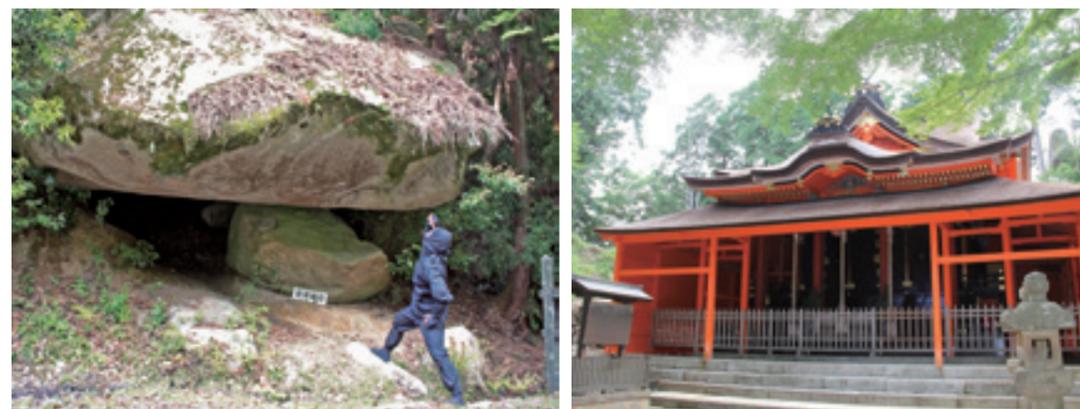
いまも残る『忍者』の足跡

甲賀はその昔から伊賀とともに忍者発祥の地として全国的にも知られており、大名に仕え、敵情を探るとともに、戦国時代の合戦の陰で活躍した姿が最も有名ですが、現在もさまざまな研究が進められており、その実態は未だ多くの謎に包まれています。

甲賀流忍者の里となる甲賀市は古くから忍者の修行の行場である飯道山や岩尾山、現在も残る城跡など、忍者が実際に暮らした痕跡が今も残り、テレビやアニメで描かれた忍者とはまた違ったリアルな忍者を体全体で体験できる全国でも数少ない地域です。

同じく日本遺産に認定された「きつこ恋する六古窯・日本生まれ日本育ちのやきもの産地」を含め、宿場町、神社仏閣などの観光資源とのネットワークを強化・充実させるとともに、リアル忍者を求めて甲賀市を訪れる方々に「本

物の忍者を知り、体験してもらえようという観光振興を図り、地域の活性化へもつなげていきます。



▲▲ 忍者の修行場であったとされる地(左は岩尾山、右は飯道山にある飯道神社)

甲賀流忍者と伊賀流忍者が手を結ぶ 両市の連携事業

忍者発祥の地である甲賀市と三重県伊賀市は、忍者を通じて観光振興と産業振興の活性化を図ろうと平成29年には『忍びの里伊賀甲賀忍者協議会』を設立しました。

これまで、ホームページの開設や両市長による忍者にゆかりがある油日神社や伊賀市の手力神社などの文化財施設の現地視察、戦国時代に活躍した忍者の役割などを考えるシンポジウムの開催などを行ってきました。両市は今後も連携し忍者をテーマとしたイベントなどを通じて全国に忍びの里伊賀・甲賀をアピールしていきます。



▲ 忍者ゆかりの地を巡るコースなどを紹介するホームページ

忍びの里伊賀甲賀
忍者協議会ホームページ
<https://www.shinobinosato.com/>



▲ 海外へもPR



▲ 東京での忍者百人衆のイベント

地域資源を活用し新商品開発 新たな形で甲賀をPR

「新商品開発事業補助金」の助成を受け、新たな商品も誕生しています。今後、市内での販売が予定されています。

忍者ハーブティー (Roots 竹中島道代)

忍者を新しい形で発信、身近な薬草の良さを再発見

ぼかぼかの術
冷え、代謝など

ひとやすみの術
リラックス、

自律神経調整

若かえりの術

健康、
アンチエイジング



▲ 3つの術(味)で再現しています。